

2024年06月11日（火）【外為Lab】松田哲

タイトル：【今日明日（2024年6月11日、12日）のFOMC】

今日明日（2024年6月11日、12日）に、FOMCが予定されている。

このFOMCでは、従来では、利下げが予想されていたのだが、利下げは、延期される見通しが
大勢を占めている。

+++++

昨年7月（2023年7月25日、26日）のFOMCで、0.25%の利上げを決定し、政策金利のフ
ェデラル・ファンド金利は、5.25%～5.50%となった。

FOMCは昨年7月以降、政策金利を20年来の高水準に据え置いてきた。

そして、昨年（2023年）の後半にインフレ率が低下したことから、今年（2024年）には徐々に
金利を引き下げる方針を示唆していた。

しかし、インフレ低下に進展がなく、利下げの計画は頓挫した格好だ。

+++++
+++++

前回（2024年4月30日、5月1日）のFOMCでも、6会合連続での政策金利据え置きを決定
している。

その際に、インフレについて、再び懸念していることを示唆した。

そして、利下げを開始するには、物価上昇ペースが鈍化していることを示すさらなる証拠が必要
とした。

+++++
+++++

今日明日（2024年6月11日、12日）のFOMCを考察する際の判断材料として、先週末（2024
年6月7日）の米国雇用統計は、大いに注目されていた。

先週末（2024年6月7日）の米国雇用統計では、非農業部門雇用者数（NFP）が+27.2万人
で、事前予想（+18.5万人）を大きく上回った。

そして、賃金の伸びも再加速した。

失業率は3.9%から、4.0%に上昇したものの、FRBは、当面、様子見の姿勢を維持し、利下げ開始の時期を先送りする、といった見方がさらに強くなった。

先週末（2024年6月7日）の米国雇用統計の発表後のマーケット（外国為替市場）は、総じて「ドル買い」に反応した。

++++
++++

現在のマーケット（外国為替市場）では、9月のFOMC会合で最初の利下げが行われると予想する向きが、大勢を占める状態となっている。

ただし、今日明日（2024年6月11日、12日）のFOMCで、利下げを断行する可能性が無い訳ではないことにも留意する必要がある。

++++

今日明日（2024年6月11日、12日）のFOMCで、どのような判断をするのか、マーケット（外国為替市場）は、最大限に注目している。

++++
++++

（2024年06月11日東京時間13:40記述）